

放送番組審議会 議事録

【平成24年度 第2回 放送番組審議会】

日時	平成25年3月19日（火） 午後3時30分
場所	大町市総合情報センター テレビ会議室
審議会委員	松田邦正氏、勝野賢一氏、鹿島葉子氏、藤巻由三子氏、 宮崎ひでみ氏
欠席者	傘木覚氏、川上洋氏、平林操氏、前川浩一氏
事務局	吉澤義雄、西澤潤一郎、井沢公一、宮坂充明、倉科貴大

(1)平成25年度の番組編成について

平成25年度新企画番組（大町病院広報番組）及び番組編成についての提案に、了承を得た。

(2)おおまち食育応援団ニュースについて

(委員からの意見)

- ・5分間ということで集中して見られた。
- ・レポーターが普段はアナウンスされていない方でそこが普通で良かった。
- ・食育という面で管理栄養士（市の職員）が出ているのは良い。
- ・レポーターとしては、たどたどしい感じが良いような悪いような、何と云っていいかわからないが、地域で作られている番組だと感じた。
- ・すごく身近に感じた。普段大町の街の中を歩いていると目にする所なので、すごく親近感が持てて良かった。
- ・市の職員がこういうところにも参加してくるのも良いことではないか。
- ・自分がちょっと行ってみようかなと思うような取材だったり、管理栄養士さんが身近に感じられたりしたので、親しみやすいと思った。
- ・食育（食）のことをやっているのでも、紹介しているオイルを使った料理を実際に入れてもらえると良かった。他のお店では実際の料理が出たりして美味しいそうだったので、是非色々な店も紹介して頂きたい。
- ・レポーターが質問事項くらいは、紙をみないで相手の顔を見て質問した方が良い。素人なのであまりプロみたいになっても変だけど。
- ・質問は受ける側が事前に知っているのか。
- ・紹介しているお店の所在地や営業時間等をテロップで出した方がわかりやすい。

(事務局から)

- アナウンサーではなく、食育応援団の事務局を担当する管理栄養士が自ら出演して紹介する手法を取った。
- 原稿については、覚えられなかったり、難しかったりする部分もあるが、民放も原稿を手を持つのを普通に見せている手法もとっている。どの手法が良いかは模索しながら行っている状況です。
- 視聴者からすれば、紹介した物をどう調理すると良いのかを知りたいということもある。それをどう使うのかというアドバイスがあればよかった。以前管理栄養士が調理する料理コーナーを行っていたので、そのようなことも併せた情報を広く提供できれば良かったのかと思う。
- 管理栄養士や制作側（カメラマン兼ディレクター）がもっと掘り下げられると良かった。慣れているアナウンサーであれば、わかっているのでその辺のフォローができるが、私たちも経験していない良い面と悪い面の両方の映像が出てしまった。
- ご意見は今後の取材活動に活かしていく。

以上